岩手県立盛岡農業高等学校

令和7年度 年間指導計画

整理番号 1

A科:動物科学科　B科:植物科学科　C科:食品科学科　D科:人間科学科　E科:環境科学科

教　科	国語	科　目	現代の国語	単位数	2	学年・学科	1学年・全学科
教科書	東京書籍「新編　現代の国語」	副教材	東京書籍「新編現代の国語　学習課題ノート」、数研出版「プレミアムカラー国語便覧」、尚文出版「常用漢字ダブルクリア」				

学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。
学習方法	・文章を読んで、様々な意見や主張を受け止め、吟味したり、新たな問いを立てたりします。

学習評価		評価の観点	評価の観点の趣旨
	a	知識・技能 （専門教科は知識・技術）	・社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。（言葉遣い、文章の組み立て、漢字、四字熟語、ことわざ、情報の整理、読書などについて）
	b	思考・判断・表現	・文章の種類に応じて、内容や構成・論理の展開について的確に理解している。 ・必要な情報を吟味して用い、目的や意図に応じて効果的に表現している。 ・目的や場に応じて情報を収集・整理して、効果的に話したり的確に聞き取ったりしている。
	c	主体的に学習に取り組む態度	・言葉の持つ価値への認識を深め、言語感覚を磨き、国語の持つ能力を向上させようとしている。 ・言葉をとおして他者や社会に関わろうとしている。

		重み付け	考査	考査外
前期中間		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
前期末		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
後期中間		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%
後期末		100%	50%	50%
	知識・技能(技術)	35%	15%	20%
	思考・判断・表現	45%	35%	10%
	主体的に学習に取り組む態度	20%	0%	20%

学期	単元名 （題材）	学習内容 （小単元）	評価の観点 a	評価の観点 b	評価の観点 c	単元の評価規準	評価方法
前期中間	1自己を見つめる 「こそそめスープ」	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。	○	○	○	b：内容を的確に捉え、筆者の思いの変化や考え方を理解しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	「ルリボシカミキリの青」	・筆者の実体験について書かれた文章を読み、自分に当てはめて考える。	○	○	○	b：体験や主張を理解し、自分自身の興味・関心について考え、伝えようとしている。	
	2他者に出会う 「水の東西」	・日本と西洋の文化比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。	○	○	○	b：対比関係をふまえて、日本人と西洋人の文化にどのような差異があるかを理解している。	
	「評論文の読み方」	・評論文の特徴、読み取り方を理解する。	○	○	○	b：評論文の特徴、読解の仕方を理解しようとしている。	
	常用漢字ダブルクリア	・4級の漢字練習を通して、基本語彙を習得する。	○			a：常用漢字の読み書きがしっかり身についている。	
前期末	3言語と生活　1 「わかりやすく説明をしよう」	・目的や相手にあった分かりやすい説明をする。	○	○	○	b：目的や相手にあった分かりやすい説明になるように話を組み立てている。	
	「異なる種類の文章を読み比べよう」	・複数の文章を読み比べ、自分の考えを深める。	○	○	○	b：複数の文章を読み、内容や、書き方の特徴を理解し、自分の考えを深めようとしている。	
	4視野を広げる 「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」	・身近な植物の観察してきた成果を述べる文章を読み、提示された新しい視点について理解する。	○	○	○	c：筆者の主張を理解し、生態系という視点と資料との関連性を捉えながら、自分の考えを深めようとしている。	
	5社会と関わる 「鍋洗いの日々」	・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。	○	○	○	b：筆者の調理場での体験と行動に注目し、その結果状況がどのように変化したかを読み取り、理解しようとしている。	
	「森で染める人」	・自然や社会の中で生きる意味を考えながら働く筆者の思いに触れ、働くということについて考える。	○	○	○	c：筆者の自然と融合した生き方に対する思いを理解し、自然や社会での仕事や生活について、自分の考えを深め、発表しようとしている。	
	常用漢字ダブルクリア	・3、4級の漢字練習を通して、基本語彙を習得する。	○			a：常用漢字の読み書きがしっかり身についている。	

後期中間	6言葉と生活　2 「発想を広げる方法を使って話し合おう」	・発想を広げてアイデアを整理し、まとめる。	○	○	○	b：思考・発想を広げる方法を使ってさまざまなアイデアを出し、整理しようとしている。	・授業態度 ・発問評価 ・指名音読 ・授業ノート ・授業プリント ・課題提出 ・小テスト ・定期考査
	「新聞記事を読んで意見文を書こう」	・記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。	○	○	○	b：要点を押さえて記事内容を読み、見出しに注目しながら内容を簡潔に要約しようとしている。 C：自分の考えをまとめ表現している。	
	7世界とつながる 「美しさの発見」	・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する。	○	○	○	b：取り上げげられた具体例に注意しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解しようとしている。	
	「りんごのほっぺ」	・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と題名に込められた筆者の思いを読み取る。	○	○	○	b：過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解しようとしている。	
	常用漢字ダブルクリア	・3級の漢字練習を通して、基本語彙を習得する。	○			a：常用漢字の読み書きがしっかり身についている。	
後期末	8未来に目を向ける 「不思議な拍手」	・人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。	○	○	○	b：「拍手」について、筆者が新たに感じたり推測したりしたことを読み取り、まとめようとしている。	
	「真の自立とは」	・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。	○	○	○	b：筆者が主張する「自立」について、現代社会で混同して使われている「独立」という言葉との違いを踏まえて理解しようとしている。	
	「資料を活用して発表しよう」	・発表の仕方や、話の聞き方を工夫する。	○	○	○	c：分かりやすい発表bの準備に取り組み、聞き手が理解しやすいように発表を行おうとするとともに、他の発表をしっかりと聞いて理解を深めようとしている。	
	常用漢字ダブルクリア	・準2級の漢字練習を通して、基本語彙を習得する。	○			a：常用漢字の読み書きがしっかり身についている。	